

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月30日

協議会名: 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	大宮営業所～中瓜運～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂市と連携し、那珂市内沿線学校へのバス利用促進チラシの配布 ・常陸大宮市内のイベントでらくがきバスを実施し、時刻表チラシ配布 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・那珂市・常陸大宮市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 27.3人 ○収支率 45.15% ○収入増 238万円/年 ○輸送人員 8,481人増/年  【結果】 ○1日当り輸送量 26.6人(△0.7人) ○収支率 37.73%(△16.43%) ○収入 2,209万円(+6.20%) ○輸送人員 72,770人(△1.41%)  収入以外は目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。また、収支率改善のために乗車率の悪いダイヤの減便も検討する。
茨城交通株式会社	浜田営業所～石塚車庫～御前山車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・道の駅かつらと連携し、城里町エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 43.4人 ○収支率 63.41% ○収入増 76万円/年 ○輸送人員 2,540人増/年  【結果】 ○1日当り輸送量 40.3人(△3.1人) ○収支率 58.73%(△7.38%) ○収入 4,866万円(+2.22%) ○輸送人員 141,817人(△9.87%)  収入以外は目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	太田営業所～小中車庫～里川入口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイ時刻表・バスマップの継続配布</li> <li>・常陸太田市内の特別支援学校でバスの乗り方教室を実施</li> <li>・常陸太田市と連携し、路線バスを利用したツアーの開催(11月)</li> <li>・常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施</li> <li>・常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施</li> <li>・常陸太田市小中高校生に対する通学定期券助成制度継続実施</li> <li>・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(R7.04)</li> <li>・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤの見直し検討</li> <li>・バスロケーションシステム周知活動(HP)</li> <li>・常陸太田市、日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布</li> </ul>	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 12.7人</li> <li>○収支率 17.10%</li> <li>○収入増 145万円/年</li> <li>○輸送人員 7,240人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 7.0人(△5.7人)</li> <li>○収支率 9.78%(△42.81%)</li> <li>○収入 425万円(△43.23%)</li> <li>○輸送人員 20,596人(△44.63%)</li> </ul> <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、水郡線との接続を重視した、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	水戸駅～桜ノ牧高校前～水戸医療センター線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の郷地区利用促進バスマップのポスティングを実施、沿線施設への時刻表設置依頼</li> <li>・高校野球開催時ノーブルホームスタジアムへのアクセス手段として県内出場校に時刻表を配布</li> <li>・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4)</li> <li>・バスロケーションシステム周知活動(HP)</li> <li>・水戸市・茨城町と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布</li> <li>・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布</li> </ul>	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 53.7人</li> <li>○収支率 64.95%</li> <li>○収入増 40万円/年</li> <li>○輸送人員 1,640人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 56.8人(+3.1人)</li> <li>○収支率 69.60%(+7.16%)</li> <li>○収入 3,291万円(+26.17%)</li> <li>○輸送人員 115,611人(+10.50%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

茨城交通株式会社	茨大前営業所～アクアワールド大洗～那珂湊駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・アクアワールド大洗と連携し、大洗エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正の実施 ・大洗地区のイベント(あんこうまつり等)時にチラシ配布 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・大洗町・ひたちなか市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・定期券Webサービスの案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 74.8人</li> <li>○収支率 75.97%</li> <li>○収入増 81万円/年</li> <li>○輸送人員 2,923人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 79.7人(+4.9人)</li> <li>○収支率 78.50%(+3.33%)</li> <li>○収入 6,887万円(+12.55%)</li> <li>○輸送人員 218,986人(+0.36%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。また、一部運行経路の見直し(大洗駅乗り入れ)を検討する。
茨城交通株式会社	茨大前営業所～東大野～平磯中学校下線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂湊おさかな市場と連携し、那珂湊エリアの観光周遊に関する企画乗車券作成検討 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正の実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・ひたちなか市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 52.4人</li> <li>○収支率 57.55%</li> <li>○収入増 72万円/年</li> <li>○輸送人員 3,126人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 45.3人(△7.1人)</li> <li>○収支率 61.59%(+7.02%)</li> <li>○収入 3,887万円(△5.26%)</li> <li>○輸送人員 147,681人(△16.18%)</li> </ul> <p>収支率以外は目標を達成できなかった。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	水戸駅～旭台団地入口～友部駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設への時刻表設置依頼 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・沿線の茨城歯科専門学校にて定期券出張販売の実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・笠間市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 23.4人</li> <li>○収支率 53.65%</li> <li>○収入増 27万円/年</li> <li>○輸送人員 1,281人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 22.4人(△1.0人)</li> <li>○収支率 54.43%(+1.45%)</li> <li>○収入 1,836万円(+28.52%)</li> <li>○輸送人員 73,957人(+11.11%)</li> </ul> <p>輸送量以外は目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	赤塚駅南口～桜の牧高校前～水戸医療センター線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・桜の郷地区利用促進/バスマップのポスティングを継続実施、沿線施設への時刻表設置依頼 ・高校野球開催時ノーブルホームスタジアムへのアクセス手段として県内出場校に時刻表を配布 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・茨城町と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービスの案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 22.5人</li> <li>○収支率 38.64%</li> <li>○収入増 98万円/年</li> <li>○輸送人員 4,048人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 15.7人(△6.8人)</li> <li>○収支率 36.45%(△5.67%)</li> <li>○収入 516万円(△0.47%)</li> <li>○輸送人員 16,492人(△22.85%)</li> </ul> <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。また、乗車率の悪いダイヤについて減便を検討する。

茨城交通株式会社	水戸駅～赤塚駅～イオンモール水戸内原線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・イオンモール水戸内原店舗内への時刻表掲出依頼 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 57.0人</li> <li>○収支率 70.70%</li> <li>○収入増 44万円/年</li> <li>○輸送人員 1,977人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 65.7人(+8.7人)</li> <li>○収支率 71.14%(+0.62%)</li> <li>○収入 3,885万円(+26.86%)</li> <li>○輸送人員 156,052人(+13.61%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～石塚車庫～野口車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・道の駅かつらと連携し、城里町エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 40.2人</li> <li>○収支率 78.93%</li> <li>○収入増 46万円/年</li> <li>○輸送人員 1,328人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 42.0人(+1.8人)</li> <li>○収支率 77.42%(△1.91%)</li> <li>○収入 4,128万円(+13.67%)</li> <li>○輸送人員 103,773人(+0.43%)</li> </ul> <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	水戸駅～国田局前～下江戸線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂市と連携し、市内中学生へ時刻表チラシの配布実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・那珂市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 16.0人</li> <li>○収支率 50.05%</li> <li>○収入増 32万円/年</li> <li>○輸送人員 1,373人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 16.0人(±0.0人)</li> <li>○収支率 40.85%(△18.38%)</li> <li>○収入 809万円(+2.38%)</li> <li>○輸送人員 31,302人(△5.71%)</li> </ul> <p>収支率、輸送人員以外は目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。また、収支率改善のために乗車率の悪いダイヤの減便も検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～市毛十文字～笠松運動公園前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R07.03) ・企業向け通勤定期券の案内書を送付を実施(R07.02) ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・バスロケーションサービスの周知活動(HP) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 29.4人</li> <li>○収支率 83.29%</li> <li>○収入増 12万円/年</li> <li>○輸送人員 381人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 45.6人(+16.2人)</li> <li>○収支率 111.49%(+33.86%)</li> <li>○収入 1,665万円(+66.52%)</li> <li>○輸送人員 41,120人(+32.39%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	鯉淵営業所～河和田小学校～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布 ・沿線施設の茨城歯科専門学校での定期券出張販売を実施(R7.04) ・バスロケサービスの周知活動(HP) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 33.9人</li> <li>○収支率 71.97%</li> <li>○収入増 22万円/年</li> <li>○輸送人員 1,054人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 38.4人 (+4.5人)</li> <li>○収支率 84.88% (+17.94%)</li> <li>○収入 2,319万円 (+48.43%)</li> <li>○輸送人員 95,991人 (+29.13%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～若林～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設への時刻表設置依頼 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・沿線の茨城歯科専門学校にて定期券出張販売の実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 17.3人</li> <li>○収支率 76.48%</li> <li>○収入増 10万円/年</li> <li>○輸送人員 481人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 16.6人 (△0.7人)</li> <li>○収支率 74.33% (△2.81%)</li> <li>○収入 985万円 (+21.73%)</li> <li>○輸送人員 38,338人 (+5.70%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率以外は目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	水戸駅～飯富～石塚車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 37.1人 ○収支率 80.91% ○収入増 31万円/年 ○輸送人員 1,201人増/年  【結果】 ○1日当り輸送量 54.7人(+17.6人) ○収支率 86.29%(+6.65%) ○収入 3,999万円(+59.35%) ○輸送人員 127,481人(+33.82%)  輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	太田営業所～竜神大吊橋～馬次入口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・常陸太田市内の特別支援学校でバスの乗り方教室を実施 ・常陸太田市と連携し、路線バスを利用したツアーの開催(11月) ・常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市小中高校生に対する通学定期券助成制度継続実施 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(R7.04) ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤの見直し検討 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・常陸太田市、日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・常陸太田市との連携で、路線バスへ竜神大吊橋へのバスラッピング掲出	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 5.5人 ○収支率 14.93% ○収入増 61万円/年 ○輸送人員 2,425人増/年  【結果】 ○1日当り輸送量 4.6人(△0.9人) ○収支率 9.12%(△38.91%) ○収入 221万円(△18.26%) ○輸送人員 9,138人(△14.73%)  すべての項目で目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、特に観光客向けのバス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	馬場八幡前～大橋～大甕駅西口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市と連携し高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市及び日立市と連携し運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市・日立市の路線バス通学定期券助成制度活用 ・常陸太田市マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・常陸太田市・日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・一部ダイヤ減便(R07.4) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 38.7人</li> <li>○収支率 40.43%</li> <li>○収入増 169万円/年</li> <li>○輸送人員 5,648人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 30.6人(△8.1人)</li> <li>○収支率 39.29%(△2.82%)</li> <li>○収入 1,870万円(△14.78%)</li> <li>○輸送人員 56,173人(△22.99%)</li> </ul> <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	馬場八幡前～はたそめ入口～真弓ヶ丘～大甕駅西口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市と連携し高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市及び日立市と連携し運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市・日立市の路線バス通学定期券助成制度活用 ・常陸太田市マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・常陸太田市・日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・一部ダイヤ減便(R07.4) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 52.8人</li> <li>○収支率 43.94%</li> <li>○収入増 213万円/年</li> <li>○輸送人員 7,740人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 57.5人(+4.7人)</li> <li>○収支率 47.12%(+7.24%)</li> <li>○収入 3,431万円(+13.75%)</li> <li>○輸送人員 111,282人(+1.89%)</li> </ul> <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

茨城交通株式会社	日立駅中央口～砂沢～十王駅前線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売</li> <li>・日立市の運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施</li> <li>・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用</li> <li>・バスロケーションシステム周知活動(HP)</li> <li>・日立市と連携し(定期券購入者増に向けた取り組み)新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布</li> <li>・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布</li> </ul>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 20.2人</li> <li>○収支率 64.93%</li> <li>○収入増 16万円/年</li> <li>○輸送人員 815人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 20.8人(+0.6人)</li> <li>○収支率 59.83%(△7.85%)</li> <li>○収入 1,249万円(+16.48%)</li> <li>○輸送人員 54,488人(+5.32%)</li> </ul> <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	日立駅中央口～国道6号～十王駅前線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売</li> <li>・日立市の運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施</li> <li>・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用</li> <li>・バスロケーションシステム周知活動(HP)</li> <li>・日立市と連携し(定期券購入者増に向けた取り組み)新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布</li> <li>・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布</li> </ul>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 18.5人</li> <li>○収支率 53.80%</li> <li>○収入増 19万円/年</li> <li>○輸送人員 888人増/年</li> </ul> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当り輸送量 23.2人(+4.7人)</li> <li>○収支率 48.81%(△9.28%)</li> <li>○収入 1,399万円(+34.74%)</li> <li>○輸送人員 58,041人(+24.93%)</li> </ul> <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)																		
関東鉄道(株)	水戸駅・石岡駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及び水戸漫遊1日フリーきっぷを発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>74.5%以上</td> <td>74.4%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>22,925千円以上</td> <td>24,568千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>91,943人以上</td> <td>62,078人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>5.9以上</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>21.2人以上</td> <td>21.9人</td> </tr> </tbody> </table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	74.5%以上	74.4%	経常収入	22,925千円以上	24,568千円	輸送人員	91,943人以上	62,078人	平均乗車密度	5.9以上	6.1	輸送量	21.2人以上	21.9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	74.5%以上	74.4%																					
経常収入	22,925千円以上	24,568千円																					
輸送人員	91,943人以上	62,078人																					
平均乗車密度	5.9以上	6.1																					
輸送量	21.2人以上	21.9人																					
関東鉄道(株)	筑波山口・土浦駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> <li>・宝篋山ハイキングモデルコースをPRし、観光需要を喚起した。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>47.9%以上</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>30,598千円以上</td> <td>44,655千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>114,353人以上</td> <td>113,644人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.9以上</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>31.3人以上</td> <td>49.9人</td> </tr> </tbody> </table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	47.9%以上	69.2%	経常収入	30,598千円以上	44,655千円	輸送人員	114,353人以上	113,644人	平均乗車密度	2.9以上	4.9	輸送量	31.3人以上	49.9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	47.9%以上	69.2%																					
経常収入	30,598千円以上	44,655千円																					
輸送人員	114,353人以上	113,644人																					
平均乗車密度	2.9以上	4.9																					
輸送量	31.3人以上	49.9人																					
関東鉄道(株)	みどりの駅・土浦駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線及びTX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>43.3%以上</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>13,621千円以上</td> <td>34,092千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>75,338人以上</td> <td>106,138人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.8以上</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>25.4人以上</td> <td>47.3人</td> </tr> </tbody> </table>		【目標】	【実績】	経常収支率	43.3%以上	66.7%	経常収入	13,621千円以上	34,092千円	輸送人員	75,338人以上	106,138人	平均乗車密度	2.8以上	5.2	輸送量	25.4人以上	47.3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	43.3%以上	66.7%																					
経常収入	13,621千円以上	34,092千円																					
輸送人員	75,338人以上	106,138人																					
平均乗車密度	2.8以上	5.2																					
輸送量	25.4人以上	47.3人																					
関東鉄道(株)	岩井バスターミナル・守谷駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及び自然博物館1DAYパスを発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・TX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>65.1%以上</td> <td>102.6%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>18,114千円以上</td> <td>30,650千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>90,955人以上</td> <td>72,768人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>4.8以上</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>26.8人以上</td> <td>39.2人</td> </tr> </tbody> </table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	65.1%以上	102.6%	経常収入	18,114千円以上	30,650千円	輸送人員	90,955人以上	72,768人	平均乗車密度	4.8以上	7.7	輸送量	26.8人以上	39.2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	65.1%以上	102.6%																					
経常収入	18,114千円以上	30,650千円																					
輸送人員	90,955人以上	72,768人																					
平均乗車密度	4.8以上	7.7																					
輸送量	26.8人以上	39.2人																					
関東鉄道(株)	藤代駅・自由ヶ丘団地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>42.7%以上</td> <td>67.9%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>3,460千円以上</td> <td>4,631千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>75,118人以上</td> <td>17,953人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>1.7以上</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>6.9人以上</td> <td>11.1人</td> </tr> </tbody> </table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	42.7%以上	67.9%	経常収入	3,460千円以上	4,631千円	輸送人員	75,118人以上	17,953人	平均乗車密度	1.7以上	3.1	輸送量	6.9人以上	11.1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	42.7%以上	67.9%																					
経常収入	3,460千円以上	4,631千円																					
輸送人員	75,118人以上	17,953人																					
平均乗車密度	1.7以上	3.1																					
輸送量	6.9人以上	11.1人																					

関東鉄道(株)	牛久駅・みどりの駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線及びTX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>68.3%以上</td> <td>83.7%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>38,510千円以上</td> <td>48,133千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>280,130人以上</td> <td>126,459人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>4.0以上</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>63.2人以上</td> <td>74.4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	68.3%以上	83.7%	経常収入	38,510千円以上	48,133千円	輸送人員	280,130人以上	126,459人	平均乗車密度	4.0以上	4.9	輸送量	63.2人以上	74.4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	68.3%以上	83.7%																							
経常収入	38,510千円以上	48,133千円																							
輸送人員	280,130人以上	126,459人																							
平均乗車密度	4.0以上	4.9																							
輸送量	63.2人以上	74.4人																							
関東鉄道(株)	取手駅・谷田部車庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>43.4%以上</td> <td>49.2%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>18,333千円以上</td> <td>19,961千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>87,570人以上</td> <td>56,663人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.6以上</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>15.3人以上</td> <td>21.8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	43.4%以上	49.2%	経常収入	18,333千円以上	19,961千円	輸送人員	87,570人以上	56,663人	平均乗車密度	2.6以上	3.7	輸送量	15.3人以上	21.8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	43.4%以上	49.2%																							
経常収入	18,333千円以上	19,961千円																							
輸送人員	87,570人以上	56,663人																							
平均乗車密度	2.6以上	3.7																							
輸送量	15.3人以上	21.8人																							
関東鉄道(株)	荒川沖駅・県立医療大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>57.6%以上</td> <td>100.5%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>10,298千円以上</td> <td>16,495千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>96,695人以上</td> <td>58,116人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>3.3以上</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>23.4人以上</td> <td>37.0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	57.6%以上	100.5%	経常収入	10,298千円以上	16,495千円	輸送人員	96,695人以上	58,116人	平均乗車密度	3.3以上	5.7	輸送量	23.4人以上	37.0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	57.6%以上	100.5%																							
経常収入	10,298千円以上	16,495千円																							
輸送人員	96,695人以上	58,116人																							
平均乗車密度	3.3以上	5.7																							
輸送量	23.4人以上	37.0人																							
関東鉄道(株)	竜ヶ崎駅・取手駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>40.5%以上</td> <td>51.5%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>11,581千円以上</td> <td>12,967千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>98,578人以上</td> <td>52,988人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.1以上</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>13.6人以上</td> <td>19.4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	40.5%以上	51.5%	経常収入	11,581千円以上	12,967千円	輸送人員	98,578人以上	52,988人	平均乗車密度	2.1以上	3.3	輸送量	13.6人以上	19.4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	40.5%以上	51.5%																							
経常収入	11,581千円以上	12,967千円																							
輸送人員	98,578人以上	52,988人																							
平均乗車密度	2.1以上	3.3																							
輸送量	13.6人以上	19.4人																							
関東鉄道(株)	鹿島神宮駅・銚子駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>60.5%以上</td> <td>49.2%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>47,862千円以上</td> <td>46,286千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>98,315人以上</td> <td>79,058人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>5.4以上</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>36.1人以上</td> <td>32.1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	60.5%以上	49.2%	経常収入	47,862千円以上	46,286千円	輸送人員	98,315人以上	79,058人	平均乗車密度	5.4以上	4.8	輸送量	36.1人以上	32.1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	60.5%以上	49.2%																							
経常収入	47,862千円以上	46,286千円																							
輸送人員	98,315人以上	79,058人																							
平均乗車密度	5.4以上	4.8																							
輸送量	36.1人以上	32.1人																							

関東鉄道(株)	つくばセンター・水戸駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車(輸行バック)の無料持ち込みを実施し、サイクリング需要を喚起した。</li> <li>・水戸京成百貨店と連携し、貨客混載を実施した。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>67.6%以上</td> <td>102.4%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>51,471千円以上</td> <td>96,151千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>104,161人以上</td> <td>81,293人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>12.5以上</td> <td>20.3</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>36.1人以上</td> <td>107.5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	67.6%以上	102.4%	経常収入	51,471千円以上	96,151千円	輸送人員	104,161人以上	81,293人	平均乗車密度	12.5以上	20.3	輸送量	36.1人以上	107.5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	67.6%以上	102.4%																							
経常収入	51,471千円以上	96,151千円																							
輸送人員	104,161人以上	81,293人																							
平均乗車密度	12.5以上	20.3																							
輸送量	36.1人以上	107.5人																							
関東鉄道(株)	柿岡車庫・石岡駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>46.9%以上</td> <td>52.7%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>23,563千円以上</td> <td>24,731千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>75,118人以上</td> <td>68,027人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.4以上</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>30.4人以上</td> <td>39.9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	46.9%以上	52.7%	経常収入	23,563千円以上	24,731千円	輸送人員	75,118人以上	68,027人	平均乗車密度	2.4以上	3.1	輸送量	30.4人以上	39.9人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	46.9%以上	52.7%																							
経常収入	23,563千円以上	24,731千円																							
輸送人員	75,118人以上	68,027人																							
平均乗車密度	2.4以上	3.1																							
輸送量	30.4人以上	39.9人																							
関東鉄道(株)	茨城空港・水戸駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。</li> <li>・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。</li> <li>・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。</li> </ul>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>【目標】</th> <th>【実績】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支率</td> <td>52.1%以上</td> <td>56.8%</td> </tr> <tr> <td>経常収入</td> <td>20,017千円以上</td> <td>18,043千円</td> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>56,225人以上</td> <td>39,490人</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>3.8以上</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>14.4人以上</td> <td>16.7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学利用の減少により輸送人員は減少した。</p>		【目標】	【実績】	経常収支率	52.1%以上	56.8%	経常収入	20,017千円以上	18,043千円	輸送人員	56,225人以上	39,490人	平均乗車密度	3.8以上	4.4	輸送量	14.4人以上	16.7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。</li> <li>・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。</li> </ul>
	【目標】	【実績】																							
経常収支率	52.1%以上	56.8%																							
経常収入	20,017千円以上	18,043千円																							
輸送人員	56,225人以上	39,490人																							
平均乗車密度	3.8以上	4.4																							
輸送量	14.4人以上	16.7人																							

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～牛ヶ谷～八千代町役場の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率63.3%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は5.6%増の68.9%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～牛ヶ谷～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率66.0%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は4.7%減の61.3%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～丘里工業団地～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率64.7%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は7.4%増の72.1%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	野田市駅～下町～岩井車庫の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率81.0%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は8.9%増の89.9%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車(株)	境車庫～釈迦～古河駅西口の運行	①令和6年9月～10月と令和7年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標141,003人に対して実績は111,253人となり目標未達成となった。未達成理由として、ダイヤ改正によるダイヤの見直し・運賃改定を実施したものの、利用増につながらなかった。	・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図る。
朝日自動車(株)	五霞町役場前～令和橋～幸手駅の運行	①桜まつりが開催され、多くのお客様にご乗車いただいた。また、桜以外の季節の花を目標にしたお客様にご乗車いただいた。 ②渋滞が発生し、定時運行に大きな影響が出た。 ③令和6年11月、五霞町のイベントに合わせて乗り方教室を実施した。 ④令和7年2月に橋梁架け替え工事に伴う迂回運行に合わせ、利用実態に合わせたダイヤ改正を実施した。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標55,277人に対して実績は54,061人となり目標達成には至らなかった。未達理由として、橋梁架け替えに伴うルート変更により、元ルートの沿線の工場の従業員の利用が減少したため。	・桜まつり開催時は渋滞が発生するため、関係各所と連携しバスの定時性確保を図り利用増に繋げる。 ・バスの乗り方教室を実施し需要の掘り起しを図る。 ・茨城県五霞町と協議し、抜本的な運行計画の見直しを行う。 ・スマホ定期券の販売促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ジェイアールバス関東株式会社	東古河線 (古河駅～ネーブルパーク～大綱)	自家用車から公共交通への利用転換について利便性・経済性を周知するとともに、自宅で購入可能なスマホ定期券をPRし、定期利用を促進した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標収支率61.28%に対し、実績71.24%となり目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係自治体との連携を強化し、イベント等へ積極的に参加することで利用促進を図る。</li> <li>・引き続き、バスロケーションシステムの導入を検討し、利便性の向上に努める。</li> </ul>
ジェイアールバス関東株式会社	東古河線 (古河駅～古河赤十字病院～古河市役所総和庁舎～健康の駅～古河駅)	自家用車から公共交通への利用転換について利便性・経済性を周知するとともに、自宅で購入可能なスマホ定期券をPRし、定期利用を促進した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標収支率42.8%に対し、実績74.38%となり目標を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係自治体との連携を強化し、イベント等へ積極的に参加することで利用促進を図る。</li> <li>・引き続き、バスロケーションシステムの導入を検討し、利便性の向上に努める。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月30日

協議会名:	茨城県地域交通政策推進協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	可住地面積が広い本県では、生活圏は市町村を越えて広域化しており、教育や商業、医療の施設が存在する広域行政圏の中心市町村等への交通手段は、住民の日常生活に欠かせないものとなっている。 バス路線の存続が危機に瀕している地域において、自家用車を自ら運転できない移動制約者等の交通手段を確保する必要があることから、広域行政圏の中心市町村等へアクセスする路線に対し、地域公共交通確保維持事業による補助制度を活用し、路線の存続を図る。